

平成28年度 県立麻生総合高等学校 学校評価報告書（目標設定）

視 点	4年間の目標		取 組 の 内 容		校 内 評 価		学校関係者評価	総合評価 (月日実施)	
	(平成28年度策定)		1年間の目標	具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善 方策等	月日実施	成果と課題
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりの自主的・意欲的な学習を支援するために、基礎学力の定着と生きる力を育む教育課程を編成する。 ②授業内容の精選、教授法の研究に組織的に取り組み、授業力向上を推進する。	①基礎科目と発展科目を体系化し、一人ひとりの進路希望の実現につながる教育課程を編成する。 ②基本的な学習習慣を身につけさせ、進路実現に結びつく学びのために組織的な授業改善を推進する。	①基礎から発展科目への繋がりを体系化し、系列については四系列に整理した教育課程を編成し、多様な進路の実現を支援する履修科目を設定する。 ②授業研究、研修会などを計画的に実践・研究し、体験的でわかりやすい授業のあり方を職員間で共有する。同一科目における共通テストを進める。	①多様な進路を実現する必修科目と選択科目を編成できたか。 ②80%以上の生徒が分かり易い授業であり、主体的に学習活動に取り組むことができたかと評価したか。 ③各教科において教育内容及び教育法を共有できたか。 ④同一科目における共通テストを100%実施できたか。				
2	生徒指導・ 支援	①生徒一人ひとりの自己肯定感を育み、安全かつ安心して生活を送れる学校づくりを進める。 ②心と体の健康と「いのちの尊重に関する教育」の組織的な研究・実践を推進し、社会性と主体性を伸長する。	①基本的な生活習慣を身につけさせ、規範意識を育てる。①部活動を活性化し、加入率の上昇に努める。 ②生徒相談の充実により、支援に努める。②「いのちの尊重に関する教育」の取組を継続し、校内外の相談体制を構築する。	①朝の立ち番指導、遅刻指導を継続する。①年2回いじめアンケートを実施し、生徒の実態を把握する。 ①中学生向けの部活動体験や在校生の仮入部を、入部率を上げる効果的なものとするよう検討する。 ②職員が生徒を支援する知識や能力を獲得するための研修を充実させる。	①遅刻者や苦情件数、特別指導件数が減少したか。 ①いじめの把握と解決につながったか。 ①部活動の入部率が50%を超えたか。 ②生徒相談対応により、課題解決につながったか。 ②「いのちの尊重に関する教育」に係る教職員研修を1回以上実施できたか。				
3	進路指導・ 支援	①生徒一人ひとりに応じた進学・就職に向けた指導を充実させる。 ②ガイダンス科目を通して社会的・職業的に自立することを目指す人間を育成する。	①生徒一人ひとりに応じた進路指導を行い、希望の進路実現率100%をめざす。 ②各年次のガイダンス科目の内容を充実させ、意見発表・問題解決の能力を身に付けさせる。	①組織的に進路説明会を行う（三者面談を効果的に実施できるよう内容や資料作成の年次進行による系統化を行う）。 ①校外連携講座などへの参加を生徒に積極的に呼びかけ、生徒が進路選択の幅をもつことができるようにする。 ②計画的に生徒が発表する機会を設け、生徒がその発表を目標に学習できる教材を作成し、指導する。	①希望の進路実現率が80%を超えたか。 ①年次進行による系統だった三者面談の内容、資料の見直しを行えたか。 ①校外連携講座やインターシップ等への参加者が増加したか。 ②70%以上の生徒が自己達成感を得、また他者を尊重する態度を獲得できたと評価したか。				
4	地域等との 協働	①地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。 ②社会に貢献し、開かれた学校づくりを目指す。	①地域の行事に協力し、生徒やPTAが積極的に参加できる環境を整備する。 ②公開授業等、学校の持つ教育機能や施設を積極的に地域に提供する。	①地域の行事やボランティアへの積極的な参加を呼びかけ、社会貢献が重要であるという意識を育む。 ②地域の方々との交流や地域事業所等と連携し、生徒が積極的に交流・参加できる環境を整備する。	①地域連携をする機会や生徒やPTAの参加が増加したか。 ①社会貢献への意欲が高まったか。 ②地域や事業所等との連携先が増加したか。				
5	学校管理 学校運営	①全ての職員が不祥事防止の意識を持ち、保護者・地域・県民から信頼される学校運営を行う。 ②生徒の安全・安心の確保のため、環境教育や防災教育を充実させる。 ③組織的な学校運営のため、OJTによる人材育成を進める。	①不祥事防止の職員意識を高め、不祥事ゼロを目指す。 ②地域と協働する等、実践的な防災教育を実施する。 ③組織的な業務遂行をとおして職員の資質・能力を高め、活かす。	①事故防止会議の教職員による発表の実施。 ②生徒による防災教室の実施。月例清掃の実施。DIGの研修会の実施。 ③複数担当制によるチェック機能の充実と引継ぎ体制を確立する。	①教職員による事故防止の発表を年間10回以上できたか。 ②生徒による防災教育を実施できたか。月例清掃やDIGに参加した生徒の意識が高まったか。 ③業務の引継ぎが組織的に行われたか。				

年度末に検証する